

## さいたま市立中央図書館 ブックリスト

# 事件です！



今日も世界のどこかで、事件は起こっている——

歴史に残るあの事件。社会を騒がせたこの事件。日常でふと出会うちよつとした事件。

さまざまな「事件」に関する本を集めてみました。

編集・発行 さいたま市立中央図書館 令和6年9月

## 事件を報じる

### 『100年前の三面記事』

TBS ラジオ「大沢悠里のゆうゆうワイド」／選 KADOKAWA 2016年

### 『『週刊文春』と『週刊新潮』 闘うメディアの全内幕』

花田紀凱／著 門田隆将／著 PHP 研究所 2018年

### 『新現場からみた新聞学』

天野勝文／編著 橋場義之／編著 学文社 2008年

### 『毎日新聞社会部』

山本祐司／著 河出書房新社 2006年

### 『江戸の瓦版 庶民を熱狂させたメディアの正体』

森田健司／著 洋泉社 2017年

### 『権力にダメされないための事件ニュースの見方』

大谷昭宏／著 藤井誠二／著 河出書房新社 2011年

### 『いま、解読する戦後ジャーナリズム秘史』

柴山哲也／著 ミネルヴァ書房 2020年



## 歴史に残るこの事件

### 『暗殺から読む世界史』

ジョン・ウィットイントン／著 定木大介／訳 東京堂出版 2022年

### 『世界史 MAPS 歴史を動かした72の大事件』

DK社／編 [土屋晶子]／[訳] 主婦と生活社 2016年

### 『かわら版で読み解く江戸の大事件』

森田健司／著 彩図社 2015年

### 『レンズが撮らえた幕末日本の事件史』

日本カメラ博物館／監修 山川出版社 2022年



『重要事件で振り返る戦後日本史 日本を揺るがしたあの事件の真相』

佐々淳行／著 SBクリエイティブ 2016年

『「天安門」三十年 中国はどうなる?』

石平／著 安田峰俊／著 育鵬社 2019年

『カチンの森 ポーランド指導階級の抹殺』

ヴィクトル・ザスラフスキー／[著] 根岸隆夫／訳 みすず書房 2010年

『ケネディ暗殺 50年目の真実』

ビル・オリリー／著 マーティン・デュガード／著 江口泰子／訳 講談社 2013年

## ちょっと驚くあの事件

『真贋の世界 美術裏面史 贋作の事件簿』

瀬木慎一／著 河出書房新社 2017年

『私はフェルメール 20世紀最大の贋作事件』

フランク・ウイン／著 小林頼子／訳 池田みゆき／訳 ランダムハウス講談社 2007年

『美術品はなぜ盗まれるのか ターナーを取り戻した学芸員の静かな闘い』

サンディ・ネアン／著 中山ゆかり／訳 白水社 2013年

『クラシック笑撃の事件簿 アーティストが語るとっておきのエピソード』

トム・イーストウッド／編著 山田治生／訳 音楽之友社 2000年

『ペテン師と天才 佐村河内事件の全貌』

神山典士／著 文藝春秋 2014年

『告白 平成プロレス10大事件最後の真実』

長州力／ほか著 前田日明／ほか著 川田利明／ほか著 秋山準／ほか著  
齋藤彰俊／ほか著 宝島社 2018年

『昭和大相撲騒動記 天龍・出羽ヶ嶽・双葉山の昭和7年』

大山真人／著 平凡社 2006年

## 事件×小説

### 『アウトゼア 未解決事件ファイルの迷宮』

前川裕／著 光文社 2019年

### 『明智小五郎事件簿 1～12』

江戸川乱歩／著 集英社 2016-2017年

### 『オチケン探偵の事件簿』

大倉崇裕／著 PHP 研究所 2015年

### 『春期限定いちごタルト事件』

米沢穂信／著 東京創元社 2004年

### 『小説大逆事件』

佐木隆三／著 文芸春秋 2004年

### 『蒲生邸事件 上・下』

宮部みゆき／著 文藝春秋 2017年

### 『生麦事件 上・下』

吉村昭／著 新潮社 2002年

### 『シャーロック・ホームズの事件簿 新版』

アサー・コナン・ドイル／著 深町眞理子／訳 東京創元社 2017年

### 『エラリー・クイーンの世界事件簿』

エラリー・クイーン／著 飯城勇三／訳 東京創元社 2005年

### 『オリент急行の殺人』

アガサ・クリスティー／著 山本やよい／訳 早川書房 2011年



このリストに掲載している図書は、さいたま市立図書館  
で所蔵しています。貸出や予約（順番待ち）ができます。

さいたま市図書館ホームページ <https://www.lib.city.saitama.jp/>

さいたま市立中央図書館 浦和区東高砂町1 1-1

TEL 048-871-2100 FAX 048-884-5500